



株式会社オウケイウェイヴ

第26期第3四半期決算説明会

2025年5月13日作成

代表取締役社長 杉浦元

【約束とお願い】

- 本説明会は記録のため、録画をしております。
- 録画データを広く公開する予定はございませんが、あらかじめご了承ください。
- 公序良俗に反する発言、行動等をお見受けした場合には、本会場から退出をしていただくことがあります。
- 発言時以外はミュートをお願いいたします。
- 画面はON/OFFどちらでも結構です。
- ご質問は随時、チャットからでもお受けいたします。

目次

01 第3四半期決算内容について

02 Q&A (Oshiete Kōtaeru)

2025年6月期（第26期）第3四半期 決算状況まとめ



■ 概要

- 営業赤字が続くものの、経営改善を進めることにより、各段階利益（損失）は前年同期比で約半減した
- （後発事象）GFA株式会社からのWebプロモーション業務受託によって、通期の連結営業キャッシュフローは黒字での着地見込となり、当社の課題である上場廃止の回避が可能となる見込み

■ BS（貸借対照表）について

- 当3Q末現預金残高：184百万円
- のれん未償却残高：76百万円
- 当3Q末純資産残高：85百万円

■ PL（損益計算書）について

- OKW単体はほぼ前年同期と同水準の着地。広告売上をアドネットワークから純広告に移行しており、広告売上に改善の兆し。
OS社の連結グループ化により子会社売上が増加したことにより、連結売上高としては、前年同期を38百万円上回る156百万円で着地。
- OS社取得によるのれん償却費等が発生しているが、当期首よりオフィス移転をしたこと、人件費や支払報酬等が減少したことにより、売上原価・販管費ともに大きく減少。OS社の連結グループ化による売上増により、前年同期比で営業利益も大幅に改善しているが、依然として営業損失（△108百万円）の状況。
- 当社元監査役との和解金収入25百万円が発生

4月に発表した業務委託契約の締結、ファイナンスについて

4月14日開示

■ GFA株式会社からのWebプロモーション業務受託

- GFA株式会社（以下「GFA」という）に関するバナー広告やメディア広告記事の掲載を受託
- 業務委託料：1億円
- 4月末日に全額入金済み

→通期での連結営業キャッシュフローは
黒字にて着地見込（※監査実施前）

4月17日開示

■ GFAとの資本業務提携契約の締結

■ 第三者割当による新株式の発行

- 割当先：GFA
- 発行価額：時価（53円）
- 資金調達額：199,995,500円

■ 第24回新株予約権の発行

- 割当先：GFA、当社取締役（杉浦元、山本峰義、関常芳、中村真広）
- 発行価額：6,605,130円
- 資金調達予定額（行使分）：833,504,500円
- 権利行使価額：53円/株
- 権利行使期間：2025年5月8日から2027年5月7日

- GFAとの資本業務提携により体制強化、営業黒字化に向けて、事業開発・M&Aの実行を協力して推進していく
- ファイナンスにより調達した資金により、M&Aを含む事業開発に投資していく
- 当社取締役が営業黒字化に向けてよりコミットしていく

連結BS（資産）

	FY2024/6	FY2025/6	
(単位：千円)	期末	第3四半期	増減
流動資産	368,377	230,507	-137,869
(主な増減項目)			
現金及び預金	273,052	184,964	-88,088
固定資産	1,062,003	1,140,646	+78,643
有形固定資産	0	0	-
無形固定資産	0	79,887	+79,887
(主な増減項目)			
ソフトウェア	0	3,033	+3,033
のれん	—	76,853	+76,853
投資その他の資産	1,062,003	1,060,759	-1,243
資産合計	1,430,380	1,371,154	-59,226

■ 流動資産

・現金及び預金

OS社株式取得による支出：△89百万円

敷金の回収：+6百万円

上記以外の増減：△5百万円

■ 固定資産

・ソフトウェア

OS社取得による増加

・のれん

OS社取得により発生（償却期間7年）

連結BS（負債・純資産）

	FY2024/6	FY2025/6	
(単位：千円)	期末	第3四半期	増減
流動負債	1,244,489	1,285,374	-40,884
負債合計	1,244,489	1,285,374	-40,884
株主資本合計	190,394	71,053	-119,340
その他の包括利益累計額	-29,123	-29,735	-612
新株予約権	24,620	44,462	+19,842
純資産合計	185,891	85,780	-100,110
負債純資産合計	1,430,380	1,371,154	-59,226

■ 純資産

・株主資本

四半期純損失△119百万円による変動

・新株予約権

前期に発行した当社役職員に対するストックオプションの
株式報酬費用の計上に伴うもの

連結PL（第3四半期）

	FY2024/6	FY2025/6	
(単位：千円)	第3四半期	第3四半期	増減
売上高	117,919	156,052	+38,133
売上原価	118,202	96,274	-21,928
売上総利益	-283	59,778	+60,061
販管費	228,810	168,243	-60,567
営業利益	-229,093	-108,464	+120,629
営業外収益	4,265	5,829	+1,563
営業外費用	89,685	39,901	-49,783
経常利益	-314,513	-142,537	+171,976
特別利益	93,673	25,500	-68,173
特別損失	-	1,327	+1,327
四半期純利益	-221,666	-119,340	+102,325
親会社株主に帰属する四半期純利益	-221,666	-119,340	+102,325

■ 売上高

OKWの売上は3Q累計では前年同期とほぼ同水準での着地。OS社の連結グループ化により前年同期比増

■ 売上原価

OKWにおける従業員退職に伴う人件費減少の影響等（当期の退職はなし）

■ 販管費

OS社取得にかかるのれん償却費、株式取得費用が発生したが、OKWにおける人件費、家賃、支払報酬等が減少したことによる

■ 営業外収益

未払配当金除斥益2百万円の発生等

■ 営業外費用

前年同期は株主割当やDESのファイナンス関連のFA費用や専門家報酬の臨時費用が発生していた。当期は代表訴訟関連の弁護士費用やファイナンス関連の専門家費用等が発生

■ 特別利益

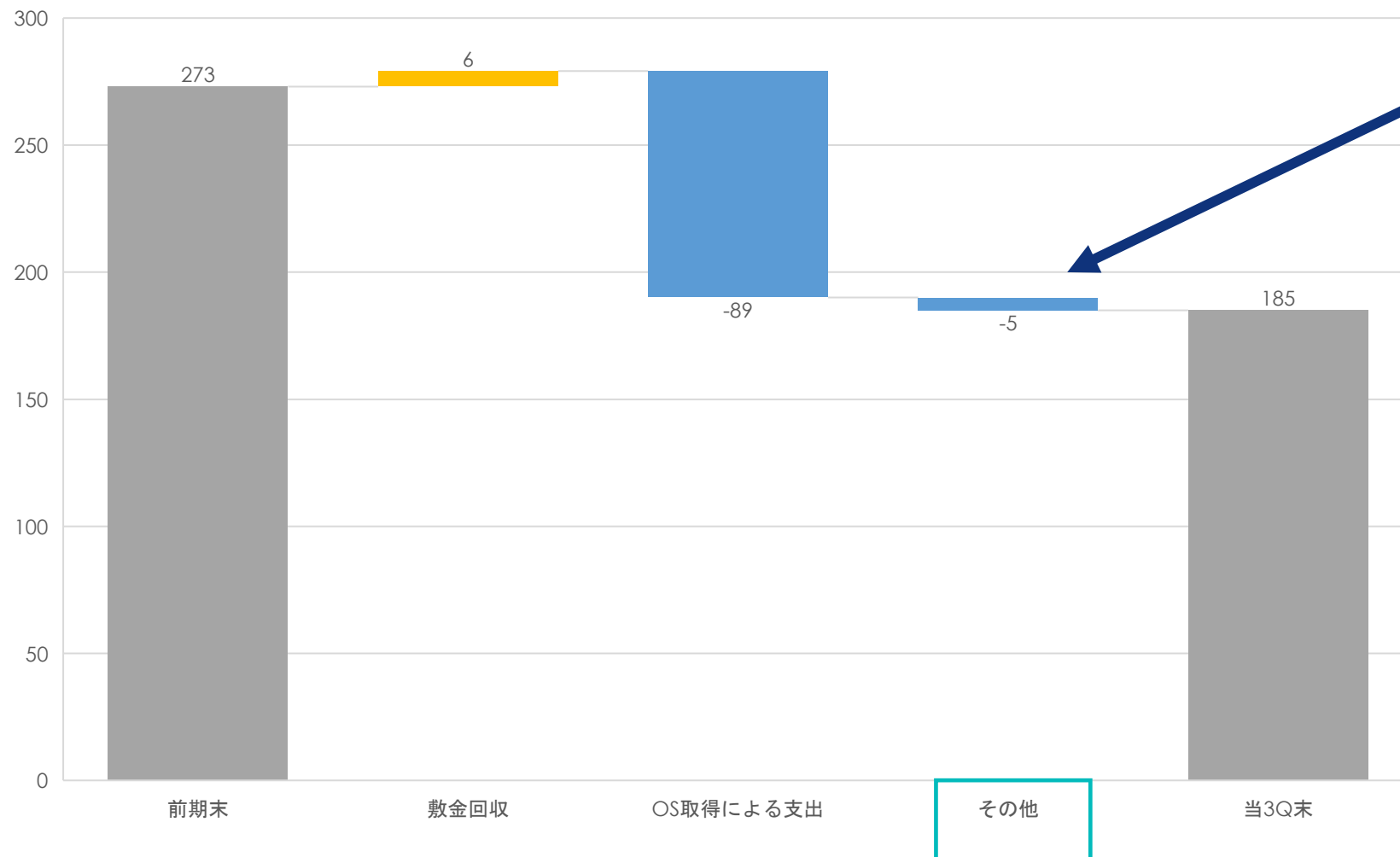
前年同期は子会社の売却益や保険金の受取が発生していた。当期は元役員との和解金25百万円が発生

■ 特別損失

子会社の解散・清算手続を開始するにあたり、清算にかかる費用の引当により発生

キャッシュ・フローの状況（第3四半期）

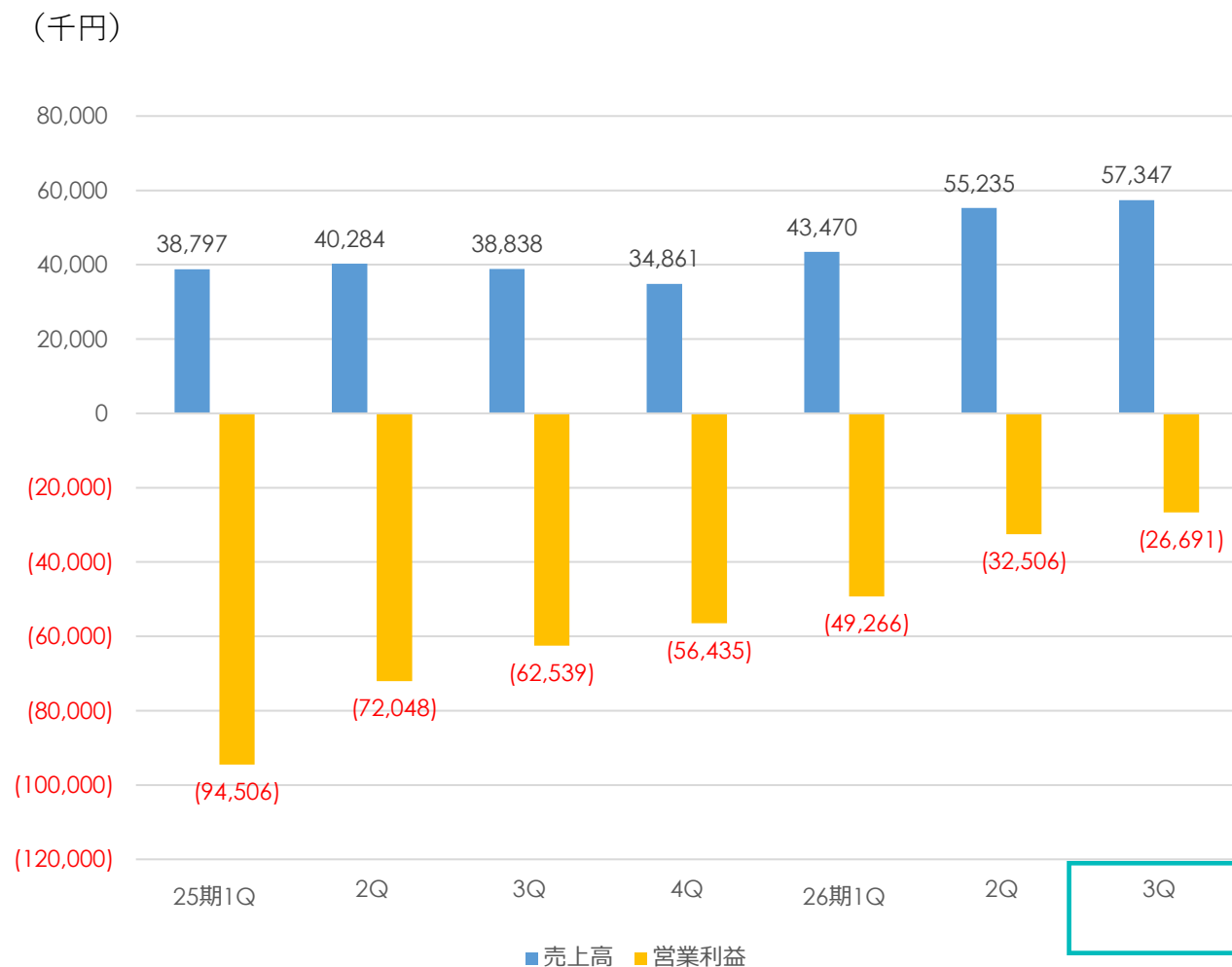
（百万円）



主に営業活動により生じている
キャッシュフロー

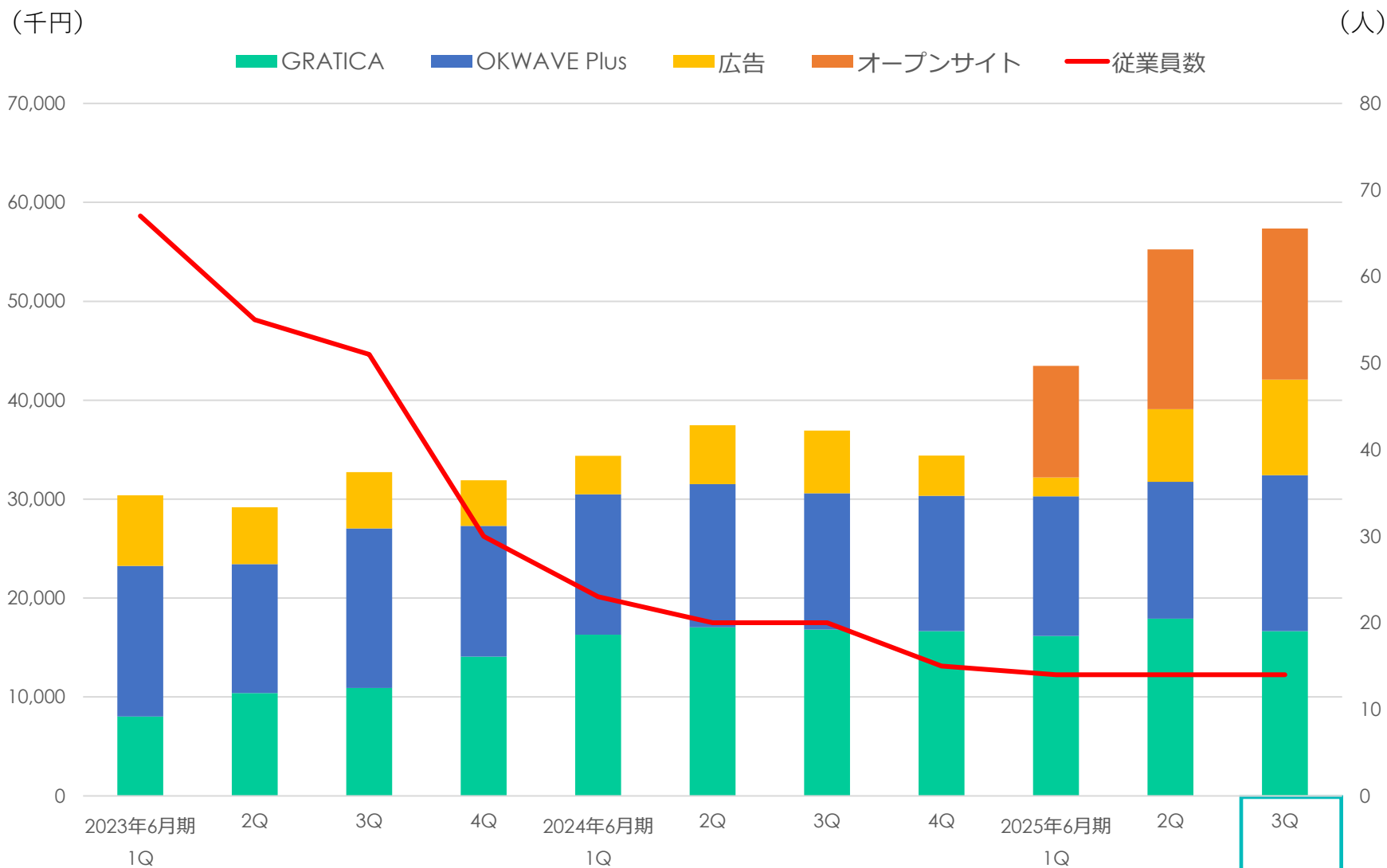
4月14日にGFAと締結したプロ
モーションに関する業務委託契約
の委託料1億円が4月末日に入金
済みのため、
通期での連結営業キャッシュフ
ローは黒字で着地見込。
※監査実施前

四半期業績推移



- 売上・営業利益ともに前同四半期、前四半期から改善しているものの、依然として営業赤字の状況は変わらず。
- GFAとの資本業務提携により、営業黒字化に向けた取り組みを加速させていく。
 - 経費の徹底削減
 - 広告売上の改善
 - アドネットワーク広告に依存しない純広告売上の獲得
 - 広告以外の収益モデルの構築
 - M&Aの実行

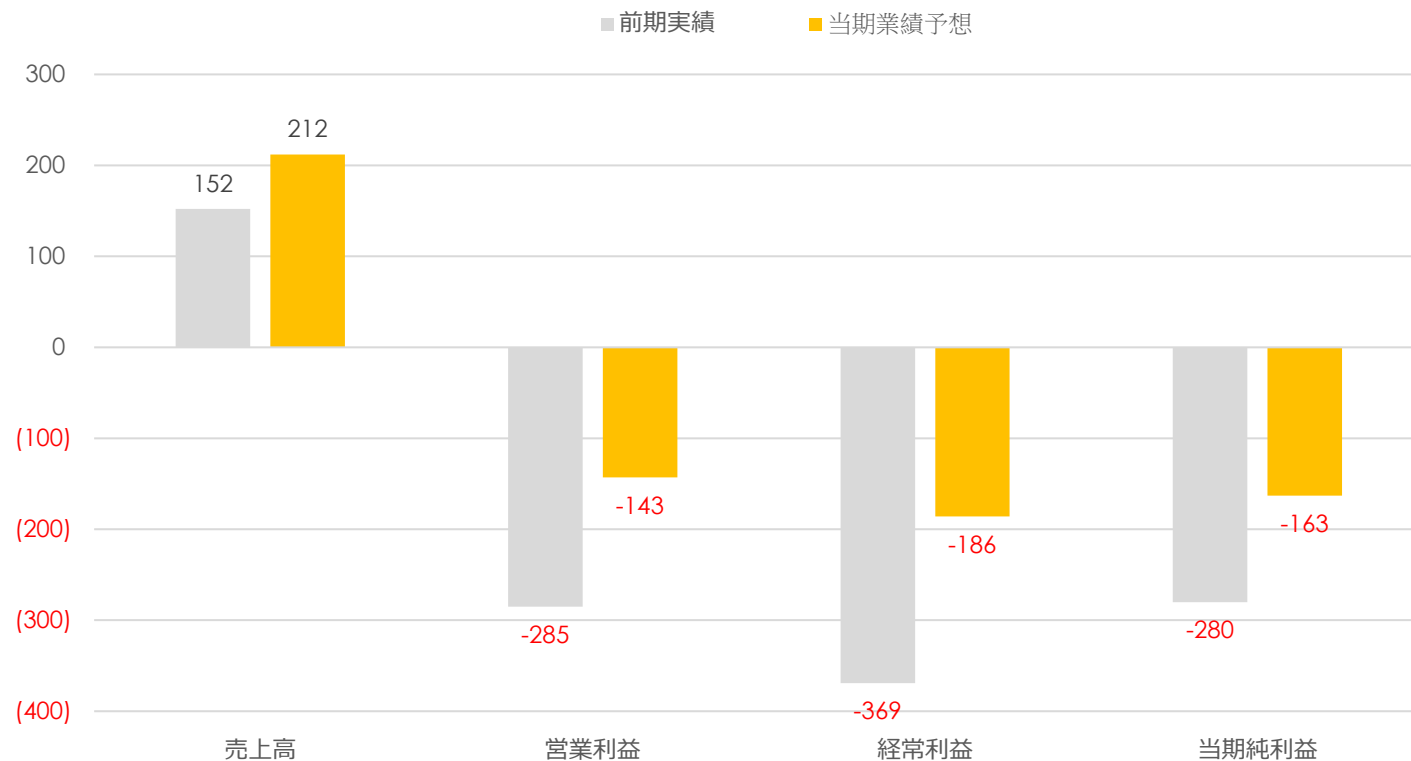
サービス別売上推移（OKWとOS）



- 広告売上はアドネットワークによる売上から純広告売上にシフトを行っており、徐々に売上が改善してきている。
- GRATICAとOKWAVE Plus（SaaS売上）は前四半期とほぼ同水準での着地。
- OS社の新規連結がグループの売上増に寄与。

2025年6月期（第26期）業績予想について

（百万円）



■ 2025年4月14日発表

売上高、各段階利益は前期から改善して着地見込だが、営業利益は今期も赤字での着地見込。

■ 今後の見通し

GFAとの資本業務提携や新規採用の実施により、組織体制の強化を図り、来期の黒字化に向けた計画を策定中。

Appendix

当社のこれまでの取り組み

(1) 内部管理体制の整備と強化

過去の内部管理体制の不備

- ・旧経営体制の下において不適切な開示
- ・適時開示の規則違反
- ・子会社管理の不全

抜本的な改善を実施

2024年5月31日
特別注意銘柄指定が解除
監理銘柄(審査中)の指定が解除

現在、改善後の経過観察期間
(2028年6月まで)

(2) 債務超過の解消と財務改善

2023年6月期(第24期)債務超過

- ・連結純資産 = △98,562千円
- ・名古屋証券取引所ネクスト市場
上場維持基準(純資産)
適合改善期間入り銘柄に指定

資本取引による改革を実施

- ・2023年6月～2023年9月株主割当による
新株予約権の権利行使 = 757百万円の
資金調達
- ・2023年9月13日現物出資による借入金
の株式化 = 191百万円の負債性資金を
資本性資金に転換

2024年6月期(第25期)債務超過解消

(3) 収益力向上のためのコスト削減、売上維持・増加

営業利益・営業活動における
4期連続のマイナスキャッシュフロー
(2021年6月期～2024年6月期)

- 連結財務諸表に継続企業の前提に関する事項の注記
- **上場維持基準(業績)改善期間入り(2025年6月まで)**

当中間連結会計期間
コスト削減と収益元再構築を実施
(2024年7月～2024年12月)

- ・コスト削減：人件費、事務所賃料、支払報酬等
→ 前年同期比65百万円減少
- ・オープンサイトの完全子会社化
→ 営業損失前年同期比 + 84百万円改善

- 売上は改善するものの、中間営業損失は81百万円。
現預金は前期末から80百万円減の192百万円。

**GFAとの営業取引により、2025年6月末において
営業キャッシュ・フロー黒字化の見込み**

**事業ポートフォリオ創出のための
M&A及び事業開発資金の調達が急務**

上場維持基準（業績項目）について

上場維持基準（ネクスト市場）	改善期間
4年連続営業利益・営業CFが負でないこと	1年間

※名古屋証券取引所 Webサイトより

<https://www.nse.or.jp/listed/delisting/next.html>

https://www.nse.or.jp/listed/files/pdf_delisting_detail.pdf

当社は、2021年6月期より営業損益が赤字及び営業CFがマイナスのため、
今期（2024年6月期）末時点で上記に抵触し、1年間の改善期間に入る見込み。
したがって、今期（2025年6月期）通期の業績が、

①営業利益がプラス

または

②営業キャッシュフローがプラス

とならない場合、当社は上場廃止になります。

今期黒字化に向けた取り組み

◆ 既存事業の成長

- ① コスト削減
- ② 広告収益の改善

◆ 非連続の成長戦略

- ③ 今後の事業領域について
- ④ M&Aの実行

メディア・ラインアップと新たなキャッシュポイントの創出



助け合いの心でつながる
Q&Aコミュニティ



<https://okwave.jp/>

悩みを商品サービスで解決！



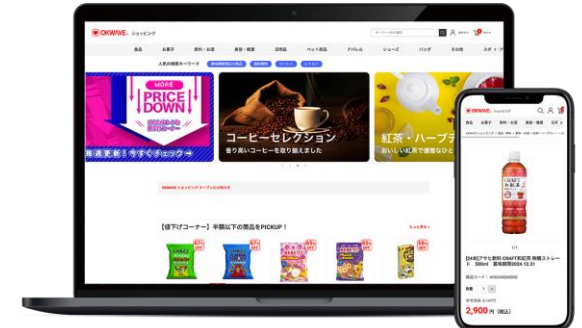
<https://select.okwave.jp/>

専門ライターが社会に発信する
プラットフォーム



<https://media.okwave.jp/>

ちょっぴり社会貢献できる
ECサイト



<https://okwave-shopping.jp/>

メディア

広告収入（アドネットワーク・純広告）
アフィリエイト収入

EC

販売手数料

今後の注力領域・事業ポートフォリオ

OKWAVEのリソース

- ・月間400万人以上のアクセス
- ・25年間炎上の無い安心安全の場



自然災害

孤独・孤立

社会環境の変化

少子高齢化

格差・分断

労働人口減少

人生100年時代

ライフイベント

恋愛

進学

結婚

就職

出産

転職

子育て

介護

終活

相続

ライフスタイル

美容

健康

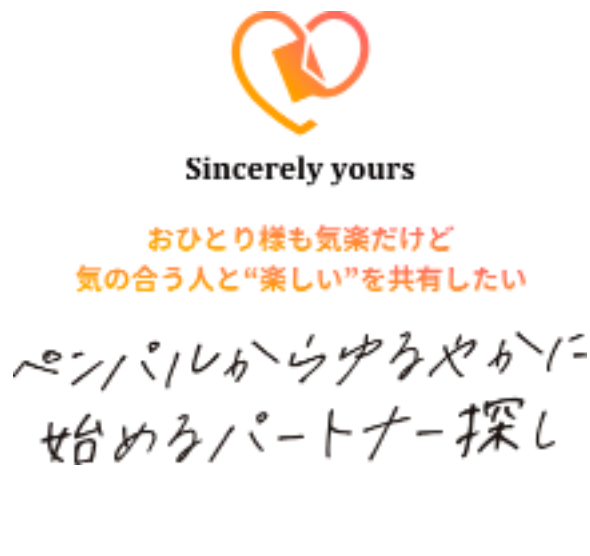
趣味・学び

(旅行・音楽・スポーツ・食・語学・学問・資格 etc.)

お金

M&A：オープンサイト

- 中高年のマッチングサービス「Sincerely yours」を運営するオープンサイト社の全株式を取得し、完全子会社化。
- 当社の注力領域であるライフイベント領域において、マッチングというビジネスモデルにて事業を展開。
少子高齢化や孤独孤立という社会環境の変化にも沿ったサービス。
- 当社グループの営業利益の創出への貢献も見込める。



株式取得の概要

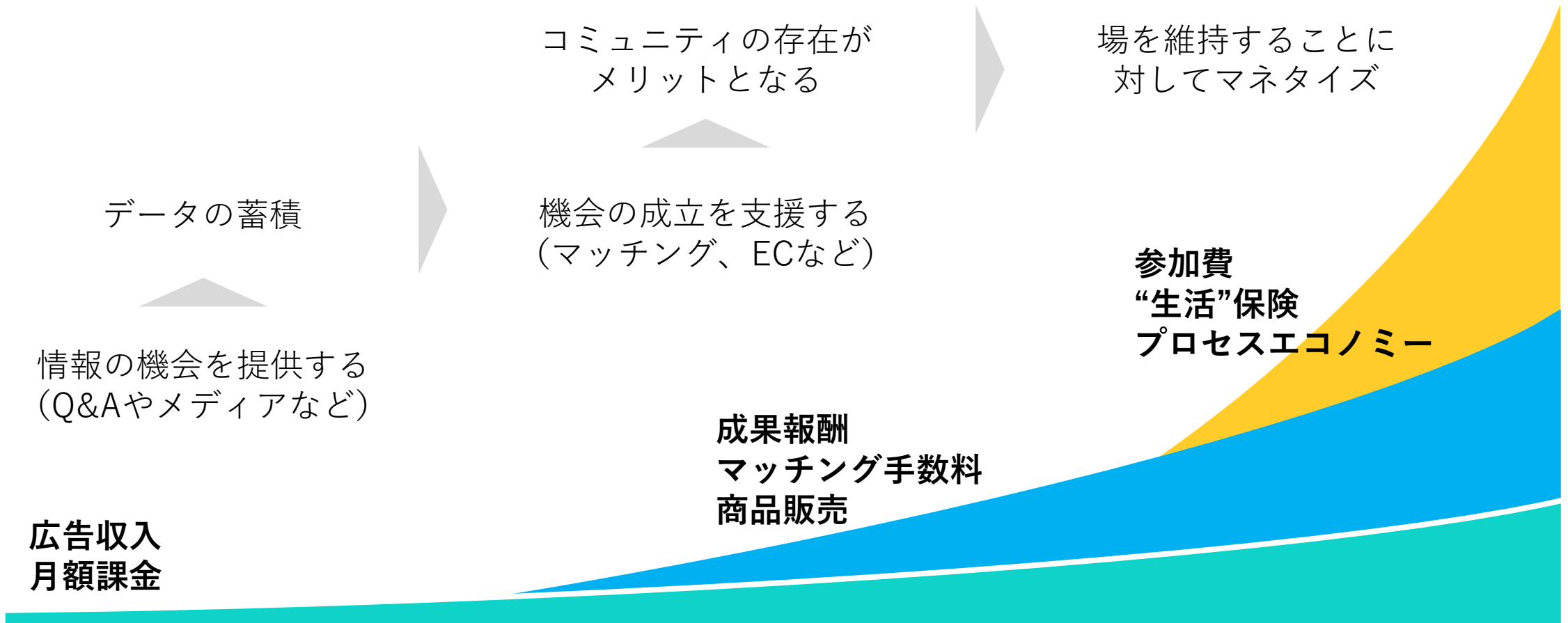
会社名	株式会社オープンサイト
事業内容	マッチングサービス「Sincerely yours」の運営
設立	2004年10月1日
株式取得日	2024年7月31日
株式取得額	100百万円
取得割合	100%

ビジネスモデルの遷移イメージ

現在

中期

中長期



ステークホルダーの皆様限定

特別プランをご用意

ご契約期間	特別料金
12か月	25%OFF
36か月	33%OFF

一括前払いのみ
となります

対象サービス： 広告、OKWAVE Plus、GRATICA
期間： 2024年8月～2025年6月

お問い合わせはこちらから

<https://okwave.co.jp/ir/contact/form03/>



個別ご相談も
承ります



本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらの見込みは、現在の想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。